

## マームとジプシー「カタチノチガウ」北京公演

国際交流基金は北京国際青年演劇祭との共催によって、今日本で最も注目の劇団マームとジプシーによる「カタチノチガウ」(TPAM(国際舞台芸術ミーティング)2015 参加作品)北京公演を実施します。併せて、アフタートークでは、弱冠 26 歳で岸田國士戯曲賞を受賞した稀代の若手演出家・劇作家である藤田貴大氏が、その演劇にかける想いを語ります。

日 時： 2015 年 9 月 8 日-10 日 19:30~

会 場： 国家話劇院小劇場(北京市西城区広安門外大街 277 号)

チケット： <http://www.gewara.com/drama/265964333>

**Gewara**  
格瓦拉∞生活



作・演出： 藤田貴大

出演： 青柳いづみ 川崎ゆり子 吉田聡子

衣装： スズキタカユキ (suzuki takayuki)

舞台監督： 熊木進

音響： 角田里枝

映像： 召田実子

照明： 南香織

映像(文字デザイン)： 名久井直子

中国語翻訳： 小山ひとみ

字幕チェック: 独立行政法人国際交流基金北京日本文化センター

字幕: 門田美和

制作: 林香菜

ツアーマネジャー: 門田美和

企画: マームとジプシー

北京公演主催: 独立行政法人国際交流基金 北京国際青年演劇祭 2015

### 【あらすじ】

それぞれ異なる生き立ちを持つ3姉妹、いづみ、聡子、ゆり子は街の全部を見渡す事が出来る、丘の上のお屋敷に住んでいた。ある事が原因で長女いづみは街を出てゆく。いづみが出て行った後、ゆり子も家を離れ、様々な事件がこの家で起こったが次女聡子は一人になりながらも、お屋敷内に留まり続ける。そんな中、いづみが「カタチノチガウ」自分の子供を連れて、街に戻ってくるのであった



### 【マームとジプシー】

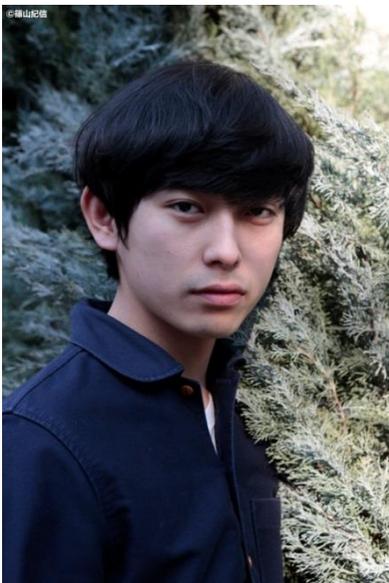
藤田貴大が全作品の脚本と演出を務める演劇団体として2007年設立。現在では2ヶ月に1本のハイペースで演劇作品を発表し続けている。所属俳優を持たず、作品ごとに出演者とスタッフを集め創作を行っている。2011年6月～8月にかけて発表した三連作「かえりの合図、まっていた食卓、そこ、きっと、しおふる世界。」で第56回岸田國士戯曲賞を受賞。2011年より藤田のオリジナル作品と平行して、音楽家や漫画家、小説家など様々なジャンルの作家との共作を発表。また、東アジア文化都市2014横浜の関連企画として映像作品「歩行と移動」を発表。近年の主要作としては「cocoon」「てんとてんを、むすぶせん。からなる、立体。そのなかに、つまっている、いくつもの。ことになった、世界。および、ひかりについて。」「カタチノチガウ」など。

### 近年主要作品

- 2007 9月『スープも枯れた』にて旗揚げ。
- 2009 11月『コドモももも、森んなか』
- 2010 10月『ハロースクール、バイバイ』
- 2011 6月『帰りの合図、』
- 7月『待っていた食卓、』

- 8月『塩ふる世界。』
- 2012～2014 谷能生(音楽家)、飴屋法水(演出家)、今日マチ子(漫画家)、穂村弘(歌人)、名久井直子(ブックデザイナー)、川上未映子(小説家)らとの共同制作作品を発表。
- 2013 8月『cocoon』
- 2013～2014 『てんとてんを、むすぶせん。からなる、立体。そのなかに、つまっている、いくつもの。ことなつた、世界。および、ひかりについて。』でイタリア、チリ、ボスニアなどを巡回公演。
- 2014 9-10月「歩行と移動」(映像作品) 東アジア文化都市 2014 横浜関連企画
- 2015 1-2月「カタチノチガウ」
- 4月「ヒダリメノヒダ」

## 【監督紹介】



### 藤田貴大

演劇作家／マームとジプシー主宰

1985年生まれ。北海道伊達市出身。桜美林大学文学部総合文化学科卒業。2007年マームとジプシー旗揚げ。2012年「かえりの合図、まっていた食卓、そこ、きっと、しおふる世界。」で26歳の若さで第56回岸田國士戯曲賞受賞。同じシーンを高速でくり返すことで変移させていく「リフレイン」の手法を用いた抒情的な世界で作品ごとに注目を集めている。2012年よりマームと誰かさんシリーズと題し、様々なジャンルの作家と共作を発表(音楽家・大谷能生、演出家・飴屋法水、漫画家・今日マチ子、歌人・穂村弘、ブックデザイナー・名久井直子)。2013年5月「てんとてんを、むすぶせん。からなる、立体。そのなかに、つまっている、いくつもの。ことなつた、世界。および、ひかりについて。」にて初の海外公演を成功させ、翌年ボスニア・イタリア5都市を巡るツアーを行う。2013年8月今日マチ子の原作である「cocoon」の舞台化に成功。2014年3月から5月にかけて小説家・川上未映子の詩を一人芝居として7都市8会場で上演。近年では、自身オリジナル作品として、2014年6月「^^^ かえりの合図、まっていた食卓、そこ、きっと——」や2015年「カタチノチガウ」「ヒダリメノヒダ」などを上演。演劇以外の活動としては、今日マチ子との共作漫画「mina-mo-no-gram」や初の短編小説「N 団地、落下。のち、リフレクション」の発表など。

藤田氏のインタビュー記事はこちら→

国際交流基金 Performing Arts Network Japan

[http://www.performingarts.jp/J/art\\_interview/1111/1.html](http://www.performingarts.jp/J/art_interview/1111/1.html)

## 【出演者紹介】

### 青柳いづみ

1986 年生まれ。東京都出身。07 年マームとジプシーの旗揚げに参加。翌年、チェルフィッチュに『三月の5日間』ザルツブルグ公演から参加。以降、両劇団を平行して活動。13 年 3 月演出家 鮎屋法水と共同で短編作品『キッチンタイマー』を発表。8 月漫画家・今日マチ子の代表作をマームとジプシーが舞台化した『cocoon』に主演。今日と藤田の共作漫画『mina-mo-no-gram』では主人公の青柳いづみとして登場。14 年 3 月から 5 月にかけて、小説家・川上未映子の書き下ろしテキストを藤田貴大演出で一人芝居として 7 都市 8 会場で発表。14 年 10 月 KYOTO EXPERIMENT2014 で現代美術家・金氏徹平との共作を発表。



### 川崎百合子

1991 年生まれ。福島県出身。桜美林大学総合文化学群演劇専修卒業。在学中に、11 年「K と真夜中のほとり」でマームとジプシーに初参加。以降、「塩ふる世界。」再演、「LEM-on/RE:mum-ON!!」、「マームと誰かさん 今日マチ子さん(漫画家)とジプシー」「モモノパノラマ」「cocoon」「∧∧∧ かえりの合図、まっけた食卓、そこ、きっと——」に出演。

### 吉田聡子

1988 年生まれ。東京都出身。桜美林大学総合文化学群演劇専修卒業。在学中に、09 年「夜が明けないまま、朝」でマームとジプシーに初参加。以降、「塩ふる世界。」「てんとてんを、むすぶせん。からなる、立体。そのなかに、つまっている、いくつもの。ことなつた、世界。および、ひかりについて。」「cocoon」「∧∧∧ かえりの合図、まっけた食卓、そこ、きっと——」など多くの作品に出演。

